

発行／松戸市 編集／松戸市東北地方太平洋沖地震対策本部  
〒271-8588 松戸市根本387-5 ☎047-366-1111 ㊚047-363-3200  
e-mail info@city.matsudo.chiba.jp http://www.city.matsudo.chiba.jp



液状化した道路

千駄堀隧道手前の交差点～八ヶ崎消防署交差点

松戸市では、災害対策情報として「広報まつど」4月1日号・15日号に掲載してきましたが、あらためてこれまでの市の取り組みと対応を振り返るとともに、災害情報についてお知らせします。

# 東日本大震災特集

## 震災から学んだこと

東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

3月11日午後2時46分に発生した地震直後から、市では警戒本部を設置し、被害状況の把握や対策に取り組みました。帰宅が困難になった人や自宅から避難してきた人等千人を超える人たちのために、公共施設三十カ所を開放するなど、この日から3月末日まで二十四時間体制で対応しました。

3月15日、福島原子力発電所の事故により、福島県を出発した一台の大型バスが松戸市に救助を求めました。市では矢切老人福祉センターを開放し、避難者を受け入れました。安堵と感謝の涙を流す様子に、できる限りの対応をしていく必要があることを実感しました。

また、3月23日の午後、金町浄水場で放射性物質

## 東北地方太平洋沖地震発生 M9.0(震度7) 松戸市で震度5弱を計測

- 人的被害：12人(軽傷者)
  - 住家：746棟(一部破損)、111棟(半壊)、7棟(全壊)
  - 非住家：6棟(半壊)、1棟(全壊)
  - 病院：1カ所
  - 文教施設：42カ所
  - 道路：97カ所
  - ブロック・石塀：56カ所
- 平成23年4月22日午後5時現在



壁が崩落した遊技場



市役所書庫

## 松戸市役所に警戒本部設置

## 帰宅困難者等に避難所(休憩所)を開設

鉄道の運行停止による帰宅困難者や自宅からの避難者等1,000人以上の人たちのために公共施設30カ所を開放しました。



国道6号線沿いを歩く人たち

が検出されたことから、同日の夜には乳児への摂取制限を行い、徹夜で作業して、翌日乳児用飲料水の配給を行いました。

今回の震災で多くの教訓を得ました。その一つが情報伝達の難しさです。市では、マスコミへの積極的な情報開示やさまざまな広報媒体による情報提供など、あらゆる手段を駆使してお伝えしてきました。

一方で、多くの支援金や義援金が寄せられたこと、お寺の開放やホームステイの受け入れ、救済物資の提供、四百人を超えるボランティアの登録など、多くの方の心のつながりや松戸市の底力を感じました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。今後も市民の皆様の安全・安心の確保に最大限の努力をまいります。

松戸市長 本郷谷 健次

## 福島県からの避難者受け入れ



矢切老人福祉センターに到着した避難者

福島県からの避難者14人からの連絡を受け、全国に先駆けて市内施設に受け入れました。その後も松戸市に避難を希望するすべての人(延べ388人)を受け入れてきました。

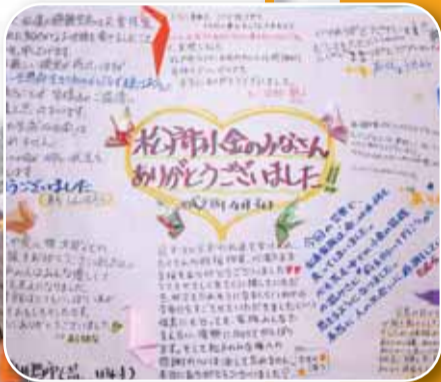
受け入れ場所には、矢切老人福祉センター・小金原老人福祉センター(小金原市民センター)・東部老人福祉センター・六実高柳老人福祉センター・市立松戸高等学校・小金市民センターといった市の公共施設の他、福島県学生寮、東漸寺・栄松寺、さらには120件もの市民の皆さんがホームステイ先として手を挙げてくださいました。

松戸市から始まった福島県からの避難者の受け入れや、こうした市民の皆さんとの連携の手法は、全国へと広がって行きました。

### ●ボランティア

ボランティアにより、避難所での美容師による散髪、中学校のサッカー部による交流イベント、地元での炊き出し、接骨院によるマッサージ、プロのトレーナーによる体操教室など、さまざまな取り組みが行われました。さらに、松戸市内でのボランティアに400人もの方が応募してくださいました。

▼東松戸中央公園での炊き出し



▲被災者の皆さんから届いた感謝の言葉

### ●救援物資を受け付け

松戸市の避難所にいる避難者、被災者を支援するために、松戸市社会福祉協議会で救援物資の受け付けを行い、800件を超える提供がありました。受け付け・仕分けは松戸市社会福祉協議会の災害ボランティアの皆さんに協力していただきました。



## 児童・生徒を市内の小・中学校に受け入れ

震災の影響により避難している小・中学生が、市内の小・中学校に通えるように柔軟に対応を行いました。支援金により転入学に必要な学用品代などの支給も行い、小学生43人、中学生14人の児童・生徒が通学しています。温かく迎えてください。

## 市長が被災地を緊急訪問

これまでも市民間で交流のあった南相馬市へ、飲料水などの救援物資を持って訪問。民間施設など約100戸を1年間無償で提供する用意があること等を伝えました。

これからもいっそう友好関係を深め、困ったときにはお互いに助け合うことを約束しました。今後できる限りの支援を行えるよう具体策を検討していきます。



3月12日

## 被災地への職員派遣

震災直後から、積極的に被災地に消防士・救急救命士、市立病院の医師等の職員を派遣し、活動してきました。

市消防局からは、緊急消防援助隊千葉県隊の一員として、3月14日から積極的に岩手県陸前高田市と福島県福島市に、第1次から第6次まで58人を派遣し、現在も活動中です(4月19日現在)。

市立病院からは、医師・看護師・薬剤師6人が3月12日からDMAT(災害派遣医療チーム)として派遣され、宮城県仙台医療センターで医療支援を行いました。

また、広範囲の液状化現象により多大な被害を受けた浦安市には、被災した道路および雨水管の現地調査、下水道の点検作業等のため、3月16日から4月28日までに延べ6人の市職員を派遣しました。

松戸市社会福祉協議会からは、災害ボランティアセンターの運営支援のため、4月10日から14日までに1人、福島県相馬市に職員を派遣しました。



陸前高田市で救助にあたる市消防局職員



医療支援を行うDMAT

3月14日

3月15日

## 松戸市東北地方太平洋沖地震対策本部設置



24時間体制で市民からの問い合わせに対応

## 松戸市内の計画停電

3月15日・16日の市役所の停電時には、システムの停止により、証明書等を即日発行することができず、市民の皆さんには、ご迷惑をおかけしました。

5月31日(木)まで計画停電はありませんが、依然として電力の供給は厳しい状況にあります。今後も引き続き節電にご協力ください。



停電時は信号機も止まりました

3月24日

4月5日

## 乳児用飲料水の配給



給水車(運動公園)

水バツクを配給(小金浄水場)

金町浄水場で3月22日に採水した水道水が100ベクレル/kgを超えたことが明らかになりました。市では、千葉県との測定結果を待たずに乳児の摂取制限を発表し、乳児用飲料水の配給を行いました。23日から乳児の摂取制限の指標となる100ベクレル/kgを下回った26日まで乳児の摂取制限を呼び掛け、28日まで乳児用飲料水の配給を行いました。

4月13日

# 今後、継続的な対応を行っていくために…

## 市民の皆さんへ

### 支援金・義援金 ご協力をお願い

市では、松戸市の被災者や市内に避難されている人への支援を迅速かつ効果的に行うため、支援金を募集しています。

各種団体や企業、個人の皆さまから4月22日現在で、17,546,303円の支援金が集まり、生活支援や児童生徒の学用品等に活用させていただいています。お寄せいただいた皆さまに心からお礼申し上げます。

今後とも行政だけでなく、市民の皆さまと一体となって災害対策を行っていきますので、ご協力をお願いします。

☎総務課 ☎047-366-7305

### 松戸市でも、「東日本大震災義援金」を受け付けています

全国から日本赤十字社に集められた義援金は、義援金配分委員会を経て被災した都道府県に配分され、被災者のもとに届きます。

☎援護担当室 ☎047-366-3019

### 支援金・義援金 募金箱の設置場所

- 市民課、市役所正面玄関、各支所…平日午前8時30分～午後5時
- 市役所守衛室前…常時
- 行政サービスセンター…平日午前10時～午後8時

### 水道のくみ置きについて

福島県の原子力発電所の関係で、雨天の際には放射性物質の量が上がる可能性があります。雨が予想される際には、それぞれで事前に3日分程度水道水をくみ置きするようお勧めします。

- ・ふたのできる容器（ペットボトル、水筒など）に口元まで
- ・保存期間は、常温で3日、冷蔵庫で10日程度
- ・くみ置きの目安は、1人1日3リットル

### 水道水や大気の放射線量について

水道水の摂取制限に関する指標値は、放射性ヨウ素：300ベクレル/kg（乳児は100ベクレル/kg）です。水道水や大気の放射線量の測定結果については、市のホームページやtwitter（ツイッター）で確認できます。

### 日ごろからの準備が大切です

- 携帯ラジオを持参する
- 職場などにスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水等を用意する
- 発災時の安否確認の方法や集合場所を家族で事前に話し合う
- 実際に歩いて帰宅経路を確認し、帰宅地図を作成しておく

お問い合わせ先のわからない  
東日本大震災に関するご相談は

## 市民相談課へ

**☎047-366-7319**

平日 午前 8時30分～午後5時

## 市内に避難されている人はご連絡ください

被災地の自治体では、避難者の所在等の把握を進めています。市内に避難している人はご連絡ください。また、避難者をご存じの人は、本人にお伝えください。

## ☎地域振興課

**☎047-366-7318**

平日 午前 8時30分～午後5時

## 被災者および避難者の皆さんへ

### 罹災証明の証明書発行について

罹災証明書とは、各種の被災者支援制度の適用を受けるにあたって必要とされる家屋等の被害程度について証明するものです。

**対象** 東北地方太平洋沖地震の被災住家  
※被災者からの申し出により調査をし、その被害の程度に応じて証明書を発行します。

**受付窓口** 市民税課 ☎047-366-7322

**受付時間** 平日午前8時30分～午後5時

※証明書発行業務以外の被災に関しては、防災課 ☎047-366-7309までお問い合わせください。

「罹災証明書」の発行には事前に職員による調査が必要ですので、市民税課 ☎047-366-7322までご確認ください。

### 住宅のあっせん

市では、被災された松戸市民に、市営住宅のあっせんを行っています。次のとおり再度募集を行います。

- 住宅戸数…4戸（調整）
  - 入居期間…5月中旬より6カ月（家賃・敷金無料）
  - 対象者…市の発行する罹災証明書等で全壊・半壊とされた被災者
- ☎5月6日(金)～12日(木)の間に、直接住宅政策課（☎047-366-7366）へ

### 労働雇用支援

市では、市内事業者から「被災者を優先的に雇いたい」などのお声をいただき、ハローワーク松戸と連携して、被災者の労働雇用支援も行っています。

※求人情報の詳細についてはハローワーク松戸へ。  
☎ハローワーク松戸（松戸公共職業安定所） ☎047-367-8609

### 生活支援

市内被災者および避難者等支援として、市民の皆さんや事業者から受け入れました支援金に関する払出基準を定め、あっせん住宅入居の際、生活支援一時金、各避難所において必要とされる日用品、転入学児童・生徒の学用品代の払い出しなどを行っています。

### 松戸市における主な避難者等への支援金と市内被災者に対する見舞金等一覧

	全壊		半壊		支給要件等	お問い合わせ先	
	複数世帯	単身世帯	複数世帯	単身世帯			
松戸市支援金	生活支援一時金 5万円		3万円		松戸市が罹災証明書を発行した人	防災課 ☎047-366-7309	
	自立支援金		世帯に基本額10万円 ※2人以上の世帯は1人につき1万円加算				松戸市が罹災証明書を発行し、転居された人および避難されている人で、市内の住宅に転居された人
	転入学児童 生徒学用品代		小学生6万円・中学生9万円 ※新入学児童・生徒は2万円加算				避難所および市内に避難している児童・生徒
松戸市災害見舞金	5万円	2万円	3万円	1万円	全壊・半壊	援護担当室 ☎047-366-3019	
日本赤十字	3万円	1万円	1万5千円	5千円			
共同募金会	1万円（賃貸5千円）		5千円（賃貸3千円）				
千葉県災害見舞金	10万円		—				
生活再建支援制度（基礎）	100万円	75万円	解体した場合のみ対象 （注1）		（注1） 大規模半壊の場合は、（基礎）部分が半額。 大規模半壊・半壊で一定の基準を満たし、 住宅を解体した場合は、全壊として扱われる。		
生活再建支援制度（加算）	建設・購入	200万円				150万円	
	補修	100万円				75万円	
	賃貸	50万円	37万5千円				
災害援護資金貸付金	350万円		250万円		全壊・半壊		
	※所得制限あり 無利子・連帯保証人必要						
災害援護資金・住宅資金貸付金	最大350万円				松戸市社会福祉協議会へ申請・審査し、 千葉県社会福祉協議会より直接振り込み	社会福祉協議会 ☎047-368-0912	
	※所得制限あり 連帯保証人がいる場合には無利子						
固定資産税の減免	全額減免		4～8割の減免		半壊の場合は被災の状況に応じて4～8割の減免措置を行う	固定資産税課 ☎047-366-7323	

※瓦屋根の落下など一部損壊・一部破損の場合は対象となりません。

市から常に最新情報を提供しています

まつど災害対策ニュースを毎日発行



災害情報については、従来の「防災無線」に加え、災害の状況や緊急情報などを「まつど災害対策ニュース」として平日毎日発行しています。

松戸市東北地方太平洋沖地震対策本部 047-366-7309

松戸市安全安心メールの登録を

災害情報や犯罪情報などをメールでお知らせします。右記のQRコードから登録してください。



登録用QRコード



twitter

公式ツイッターを開設



災害情報もリアルタイムで提供しています

市では3月15日より、災害対策から公式twitterを開設し、リアルタイムに情報を提供し、すでに11,000人以上の人がフォロー（登録）しています。

パソコンや携帯電話などをご利用できる人は、ぜひ活用ください。

アカウント @matsudo\_city (アット マツド アンダーパー シティ) URL http://twitter.com/matsudo\_city

計画停電で市のホームページが閲覧できないときにも、twitterや「松戸市FAQサイト」で、交通情報や計画停電情報などを提供してきました。

災害に関するお問い合わせ先一覧

Table with 3 columns: お問い合わせ内容, 担当機関, 電話番号. Lists various disaster-related services and their contact info.

災害伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります。その際に、家族間や友だち間などの連絡・安否の確認に活用できます。

NTT災害伝言ダイヤル



- 伝言の録音方法: ガイドスの後、1を押す。
● 伝言の再生方法: ガイドスの後、2を押す。

近くの避難場所を確認しておきましょう

災害の種類・規模に応じて避難できる場所が異なるため、自宅近くの避難場所を確認しておきましょう。

047-366-7309

区分の説明

- 避=避難場所...災害時に、一時的に避難できる空地(くうち)
広=広域避難場所...大火災等でも避難できる、10ha以上の避難場所
収=収容避難所...長期避難を必要とする住民を、一時的に収容保護する建物
応=応急救護所...収容避難所の中にできる、応急的医療救護活動をする場所

Large table listing evacuation sites (避難場所名称) and their categories (区分) across multiple columns.

※松戸競輪場(第2駐車場および有料駐車場)は、平成21年4月13日から指定